

産前産後期間の国民健康保険料について

対象となる方・受付期間

- 令和5年11月1日以降に出産予定の国民健康保険被保険者の方が対象です。
妊娠85日（4ヶ月）以上の出産が対象です（死産、流産、早産及び人工妊娠中絶の場合も含まれます）。
- 出産予定日の6ヶ月前から届出ができます。出産後の届出も可能です。

国民健康保険料の免除方法

- その年度に納める保険料の所得割額と均等割額から、**出産予定月（又は出産月）の前月から出産予定月（又は出産月）の翌々月（以下「産前産後期間」といいます。）**相当分が減額されます。

	3ヶ月前	2ヶ月前	1ヶ月前	1ヶ月後	2ヶ月後	3ヶ月後
単胎の方			出産予定月			
多胎の方			出産予定月			

※産前産後期間相当分の所得割保険料と均等割保険料が年額から減額されます。産前産後期間の保険料が0になるとは限りません。

※多胎妊娠の場合は出産予定月（又は出産月）の3ヶ月前から6ヶ月相当分が減額されます。

- 令和5年度においては、**産前産後期間のうち令和6年1月以降の期間の分だけ、保険料が減額されます。**

令和5年8月	9月	10月	11月	月	令和6年1月	2月
			出産予定月		対象期間	

※令和5年11月に出産した場合、令和6年1月相当分の保険料が減額されます。令和6年1月より前の期間については減額の対象とはなりません。

- 保険料が減額された場合、払いすぎになった保険料は還付されます。

保険料（所得割額・均等割額）の減額の例

- 令和4年給与収入300万円（給与所得202万円、基礎控除後の総所得金額等159万円）
- 令和6年2月1日出産予定日（令和5年度分の対象月は3ヶ月）

◎医療給付費分

所得割額 減額前の額：124,020円 → 減額後の額：93,015円

均等割額 減額前の額：33,720円 → 減額後の額：25,290円

◎後期高齢者支援金等分

所得割額 減額前の額：49,290円 → 減額後の額：36,967円

均等割額 減額前の額：11,640円 → 減額後の額：8,730円

◎介護納付金分（40～64歳）

所得割額 減額前の額：47,700円 → 減額後の額：35,775円

均等割額 減額前の額：13,200円 → 減額後の額：9,900円

届出に必要な書類

- ① 届書
- ② 母子健康手帳など

※出産後に届出を行う場合、親子関係を明らかにする書類が必要です。